

材木担ぎながら

きよ ほうへん
清 方偏

始めに、この駄文を読んでみようかなって気になった方は何も言わず「東京大学」ってメモをしといて下さい。最後まで読んでいただければその謎？が分かります。

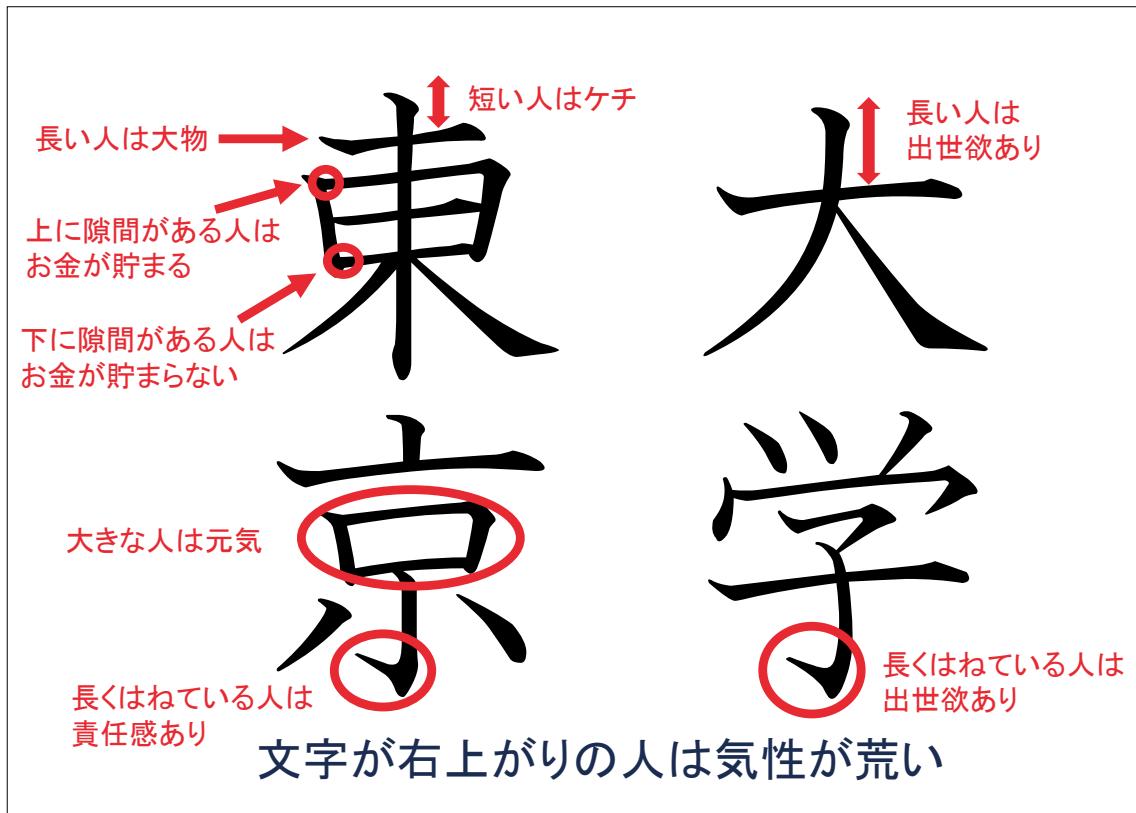
さて、この頃文字を書くことがありますか。当社では納品書が手書きなので、納品書を書くくらいのものでそれ以外は殆ど有りませんし、ましてや自分の主義主張や考え方などを文字にするなんてことは全くありません。

そんな男が投稿しようなんて気になったのは、今年の大河ドラマ「麒麟が来る」の影響があるようです。

明智光秀をあんなにイメージチェンジさせるとはびっくり仰天です。それでは何故今まで裏切者のイメージ一辺倒だったのか、その大きな原因は、明智叢員の「史料」があまり無いからだそうです。信長には「信長公記」信玄には「甲陽軍鑑」謙信には「北越軍記」これら講談まがいの記録が彼らをヒーローにした一因でもあります。また信長より早く四国から畿内までを統一した三好長慶や、足利將軍殺しや東大寺焼き討ち、信長への反逆などで日本史上希代の悪人とされている松永久秀などはマイナスイメージばかり、最近になってやっと再評価が進んできましたが、両者とも彼らサイドの記述などが残っていればもっと早く評価も違っていたはずです。

話を私ごとに戻しますが、何でもよいから文字に残しておけば「あいつ、どうも近づきにくい嫌な奴にみえたけど、案外面白い奴じゃないの」ってことになるかもしれませんし、更には何か生きた証のエッセンスになるかな、そんな意味あいもあって投稿させてもらいました。こんなところが打算的で嫌な奴なんですかね。

それでは「何か書きたいの」って言われても思い浮かばないんですけど、昔から「字には性格が出る」って言いますよね。昔テレビ番組かなんかで見た筆跡の性格占いなんてのは如何でしょうか。ここで最初に言いましたあなたが書いた「東京大学」って4文字を御覧ください。占いの答えは次頁に載せました。「くっだらない！」とお思いでしょうが、私、血液型と筆跡の性格占い割と信じてるんです。



以上こんな駄文でもボツにしないで掲載してくれた月報委員各位に感謝いたします。

最後に YouTube ではありませんが最後まで読んでくれた皆様「チャンネル登録お願いします。」



東京大学
出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>

「木場ことば」

素六

◆主として秋田間屋で使う言葉であるが、その意味は、長さの方は全て六尺とみなして、よけいの長さの分はおまけにするという計算のことである。

◆秋田の一間者には長さが六尺と六三寸と六尺六寸がある。六尺と六三は関東向けであり、六六は関西向けとして特別に製材されている。間屋は六尺のみを仕入れたいのだというとき、工場の方にはあいにく六三をもませなくては、要望どおりの量がまとまらない。

◆こういうときに、間屋は、それでは六三でも致し方がない。そのかわりス六計算にしてくれという。合点といえば長さで三寸は売り手としてはタダで渡す計算になるのである。こうしてス六で仕入れて六三で売るとすれば、材積は5%がたふえる。仕入値と売値が同じであっても、ちゃんと利益は得た勘定になるのである。

◆スには、素っ裸とか、素手とかいうときの意味をもつのが普通であるが、この場合のスはすっかりとか、すべてとかいう意味をもっている。

◆六尺六寸のものを六尺三寸で買うのはス六といわず、はっきり六三計算という。まちがっても、六尺を六三計算でという水増し買いなどはないはずである。

引用文献:『木場ことば集』 宮原省久編著 東京木材市場株式会社 昭和44年(1969年)11月 p.78～p.79



材木問屋街／大阪
出典：<https://mainichi.jp/articles/20190509/ddl/k27/040/329000c>